

科目名 母性看護援助論Ⅱ	配当時期 2年次後期	講義担当者	
時間割表記名 母性看護援助論Ⅱ (正常から逸脱した状態の看護)	単位数 1単位 時間数 15 時間(8 回)	坪木 純子 原田 なをみ	
事前学習内容 テキストや資料をもとに母性看護学概論・母性看護援助論Ⅰの復習をしておく。			
授業目標 1. 妊娠・分娩・産褥期、新生児の正常から逸脱した状態(起こる病態・生理)や治療と必要な看護について理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	正常から逸脱した妊娠期の経過 1)ハイリスク妊娠の定義 2)スクリーニング	講義	テキスト①、資料
2	3) 正常から逸脱した妊娠の病態と治療 (感染症・妊娠高血圧症候群、流産・早産・子宮外妊娠・ 常位胎盤早期剥離・前置胎盤)	講義	テキスト①、資料
3	正常から逸脱した分娩期の経過 正常から逸脱した分娩の病態と治療 (胎位異常・胎児機能不全、分娩時損傷、異常出血、前期 破水、帝王切開術)	講義	テキスト①、資料
4	正常から逸脱した産褥期の経過 正常から逸脱した産褥の病態と治療 (肺塞栓、産褥熱、産褥感染症、子宮復古不全、乳房の 異常、精神障害)	講義	テキスト①、資料
5	正常から逸脱した新生児の生理的特徴 異常新生児の病態と治療 (低出生体重児、先天異常、呼吸障害、新生児溶血性障 害、分娩損傷、その他の異常)	講義	テキスト①、資料
6	正常から逸脱した妊娠期・分娩期・産褥期・新生児の看護 1)正常から逸脱した妊婦・産婦・褥婦と家族の看護	講義	テキスト①、資料
7	2)ハイリスク新生児の看護 3)子どもの障害受容や死の転帰を迎えた場合の看護	講義	テキスト①、資料

8	筆記試験(45 分)	講義	テキスト①、資料
受講上の注意 ○この科目の学習内容は、「母性看護援助論Ⅲ」の保健指導につながる。			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 医学書院 参考文献 ①病気がみえる Vol. 10 産科, 2014, 第 3 版 メディックメディア			